

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		観光PR事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成24年度～
	施策	集客資源の創出と充実	種別	任意的事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供	市民協働	
予算科目コード		01-070102-06 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） ・PRパンフレット配布 ・市外イベント参加
守谷市観光の魅力を市民にPRするとともに、市外への認知度向上を図る。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷市のような魅力を知ってもらうために、市外に対して情報を発信することにより、認知度の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等、守谷の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう努める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
新たな観光PR事業の取組として、漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会（ツアーオフィス）主催の市内観光バスツアーを実施したところ、県外からも参加もあり人気のバスツアーとなった。市外者を守谷へ呼び込むための継続したPRが必要。	来年度のバスツアーに向けての検討、協議。 2月～3月 県、市観光協会、市内企業との打合せ
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
市内観光等パンフレットの配布のほか、市内観光バスツアーの継続に向け、市内企業との連携を図る。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	守谷市の観光PRを継続して実施する必要がある。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
市外イベント参加時の配布や市外施設への掲示等，より効果的なPRを図っていく。	市内企業の協力により，市内観光バスツアーを開催した。 また，シティープロモーション事業と連携し，SNS等を活用し市内イベント等のPRを図った。 （歩いてみよう発見のまち守谷，守谷野鳥の森散策路と鳥のみち，小貝川ウォーキングガイドマップの配布。水海道千姫まつり，原子力機構新春のつどい（水戸市），茨城県人会（東京都）の参加。いばらきよいとこプランバスツアーの開催）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
イベント等の情報発信数（回）	5.00	6.00	7.00	7.00	7.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	新たなイベントの参加や市内観光バスツアーの開催により知名度向上が図れた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	市外のイベントや行事催物参加時のパンフレット配布や市外施設への掲示，市内観光バスツアーの開催の継続に向け市内企業と連携を図り，より効果的なPRを図る。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	335	296	135	141	141
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	335	296	135	141	141
正職員人工数（時間数）		0.00	540.00	425.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	2,214	1,743	0	0
トータルコスト		335	2,510	1,878	141	141

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		守谷市観光協会補助事業		担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間	昭和57年度～
	施策	集客資源の創出と充実		種別	任意の事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供		市民協働	補助事業
予算科目コード		01-070102-07 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 守谷市観光協会による観光資源の発掘や開発や観光活動を補助金により支援する。
昭和57年北守谷地区の開発等により人口も増加傾向となり、街が大きく変化し始めた時期に、守谷のPRと観光振興のために設立された守谷市観光協会の支援を行う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷市観光協会の活動を支援することにより、観光資源づくりや守谷市の魅力発信を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等、守谷の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市観光協会による観光資源の発掘や観光活動を支援するための補助金であり，課題はなし。	
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	地域の観光を推進する観光協会に対する補助金事業であり，現状維持とする。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
公益団体である観光協会に対する補助事業であるため、現状維持とする。	補助金を交付した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
情報発信の種類	3.00	6.00	7.00	7.00	7.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	「発見のまち守谷」，「歩こうマップ（黄色）」，「歩こうマップ（緑）」，「守谷城址・野鳥の森周辺自然環境調査報告書」，「守谷野鳥の森散策路と鳥のみち」，「市民のつくった守谷史」により，市内観光資源をPRしたことにより，多くの方が訪れている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	観光協会に対する補助であり，市内観光資源の発掘や管理，市全体の観光に資するPRなどの事業であるため，現状維持とする。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	800	800	800	800	800
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	800	800	800	800	800
正職員人工数（時間数）		0.00	240.00	152.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	984	623	0	0
トータルコスト		800	1,784	1,423	800	800

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		守谷生まれの食品推進事業		担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間	平成27年度～
	施策	集客資源の創出と充実		種別	任意の事務
	基本事業	積極的な地域資源の創出と情報提供		市民協働	
予算科目コード		01-070102-12 単独	根拠法令・条例等	・守谷市いただきます条例 ・守谷生まれの食品推進協議会設置要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成27年度に制定された「守谷市いただきます条例」に基づき、食のまちづくりの推進に関する施策を推進するため、守谷生まれの食品推進協議会が発足した。	食のまちづくり施策として、安全で安心な食品の生産や供給，地産地消と食育を推進するため，市民，生産者，事業者等の委員で構成された守谷生まれの食品推進協議会で，食に関する施策や推進を行う方法等について検討を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
食をとおして家庭や地域の絆を築き，守谷の新たな魅力を発信，地産地消を推進し，食に関する産業の発展と健康で豊かな市民生活の実現を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等，守谷の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう努める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
地産地消を推進している協議会の活動を周知し，イメージアップを図るためのロゴマークが決定したことから，活用方法やPR方法を拡大していく必要がある。	・ロゴマーク入りのぼり旗，シールの作成 時期：平成29年12月末 のぼり旗のデザイン決定及びシールの発注 平成30年1月 のぼり旗の発注及びシール納品 平成30年3月 のぼり旗の納品 平成30年4月以降 のぼり旗・シール配付 ・守谷生まれの食品推進協議会 2月開催 対象者（店舗や飲食店等）や配付方法，データによる活用方法等の協議
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
今後の活用方法について，対象者（店舗や飲食店等）や配付方法，データによる活用方法等について協議会で検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	地産地消の推進，守谷生まれの食品のPRを拡大していく。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
守谷生まれの食品のチラシを作成し、小・中学校で保護者対象とした給食試食会等で配付しPRした。 また、守谷産の人参をパウダー化したものを給食に人参スープとして提供した。それらの取り組みをホームページでも周知を図った。	守谷生まれの食品に関するロゴマーク及びポスターを募集し、ロゴマーク1作品、ポスターを小・中学校それぞれ1作品ずつ決定した。 また、ロゴマークを活用したのぼり旗とシールを作成し、協議会に諮り、活用方法を決定した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
食のまちづくりの推進に関する施策数（施策）	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	ロゴマークやポスターを募集し、決定した施策を進めているが、現在は、施策を具体化している段階である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	作成したシールやのぼり旗を活用するとともに、守谷生まれの食品推進協議会によりPR等の施策を検討し、守谷生まれの食品を広く市民に周知を図る。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	100	45	488	278	278
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	100	45	488	278	278
正職員人工数（時間数）		0.00	253.00	808.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,037	3,313	0	0
トータルコスト		100	1,082	3,801	278	278